



竜スモットキヤ
ターがちーたん

恐竜化石発見

道の駅丹波おばあちゃんの里オープン

氷上郡6町合併調印式

辻市長初登庁

祝一般国道176号鐘ヶ坂バイパス 開通

新鐘ヶ坂トンネル開通

丹波市豪雨災害発生

デマンドタクシー運行開始

市民の皆さんと日々を重ねて 丹波市制施行 15周年

6町合併で市制スタート

平成16年11月1日に氷上郡6町が合併し、丹波市が誕生してから15年が経過しました。全国でも例の少ない6町の合併により、兵庫県下で5番目に広い面積を有する市になった丹波市。15年の歩みの中で「こころの合併」や、人口減少下の市政運営に取り組んできました。

記念式典を開催

11月2日、春日文化ホールで、市制施行15周年を記念して式典が行われました。オープニングには丹波沼貫よさこいチーム「心貫の皆さん」によるよさこい踊りが披露され、開式に先立って、市の発足から15年の歩みをまとめた映像が上映されました。



国内最大級の植物食恐竜「丹波竜」化石の発見をはじめ、平成26年の丹波市豪雨災害、他自治体との交流、市民の健康で安心な暮らしを支える丹波医療センター・健康センターミルネの開設など、15年の歴史を振り返りました。

人口減少に立ち向かえるま

谷口市長は「15年間で最大の試練は、平成26年に発生した丹波市豪雨災害。災害から5年が経過し、復興・復興の節目を迎える中、さらなる人口減少に立ち向かえるまちづくりに努めたい」とあいさつしました。また、市民の皆さんをはじめ、市政発展にご協力いただいた関係者の方々に、あらためて感謝を述べました。

ビデオメッセージも披露

式典では、姉妹都市であるアメリカ合衆国のケント市・オーバン市をはじめ、恐竜化石を生かしたまちづくりを推進する連携自治体などからいただいたビデオメッセージも披露されました。

また「高校生が描く未来の丹波市」と題し、柏原高校1年の小橋稿太朗さんが作文を発表しました。そのほか、自治活動やスポーツの推進に尽力された8人の方々にもみじ賞が贈られ、丹波市音楽協会の皆さんによる「このまちとともに」丹波市の歌」の合唱も行われました。



オープニングのよさこい踊り



復興祈念大相撲丹波場所



ゲント市・オーバン市と姉妹都市提携を締結



市立農の学校が開校



祝 丹波市立青垣小学校開校式

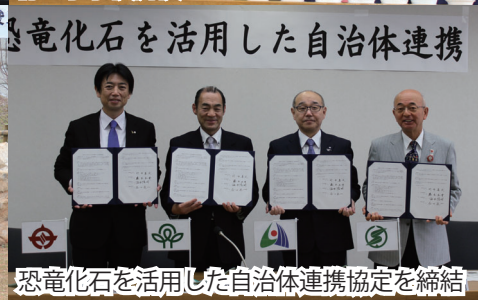
青垣小学校開校



秋篠宮妃殿下が来丹



丹波医療センター・健康センターミルネ開設



電化石を活用した自治体連携

恐竜化石を活用した自治体連携協定を締結



復興砂防公園竣工



市民プラザ開設

丹波市市民憲章を発表

市制15周年を契機に、市民の皆さんがふるさとに対する愛着と誇りを持ち、「よりよいまちをつくろう」という気持ちを共有するため「丹波市市民憲章」が制定されました。式典では「丹波市市民憲章検討委員会」委員長である作家の玉岡かおるさんが初披露しました。

未来へのメッセージを伝える

「丹波市市民憲章」は、市民一人ひとりが「ここに暮



市民憲章を朗読する玉岡さん

らしてよかった」という誇りを持てるよう、市の良さやふるさとのイメージが想起しやすい言葉を使い、未来へのメッセージとして作

丹波市市民憲章（令和元年9月30日制定）

天から降る水のしずくを
北と南に分ける地、丹波市。
霧湧き上がる大地の恵みを享けながら
「おかえり」を合言葉に みんなが家族のように暮らします。
今日、ここで生きること感謝して
明日、また幸せが訪れることを喜びながら
未来へ、はてなく続く希望に満たされるまち。
先人から受け継いだこのふるさとを、
まだ見ぬ子孫に誇れるよう
私たち市民は、一人ひとりを互いに大切にしたい
よりよき時代をつないでいきます。

られました。あえて旧町の名所などは入れず、将来にわたって使ってもらえるよう、中高生などの意見も取り入れて制定されました。
「ふるさと丹波市」を五感で伝えるこの憲章が根付き、子どもからお年寄りまで長く伝わっていくよう、今後啓発活動が行われます。

積極的な施策展開へ決意を新たに

急激な少子高齢化を目の前にして、市は今年、20年後のまちの姿を描く「まちづくりビジョン」を策定しました。「愛すべきそれぞれの地域で最後まで住み続けられるまちづくり」の実現に向け、引き続き積極的な施策展開ができるよう、15年目の決意を新たに、夢ある未来を祈念しました。

- 式典について
総務課（氷上庁舎内）
☎ 82・10002
- 市民憲章について
総合政策課（氷上庁舎内）
☎ 82・0916